



SGH課題研究「グローバル課題4領域について知り、気づき、探る学習」

—グローバル課題4領域の概要を知り、その現状や課題に気づき、解決策のヒントを見つける—

## 「SDGs」編

### ● 開催概要

| 時限数        | テーマタイトル                                    | ねらい   |
|------------|--|---|
| 第1回<br>1時限 | グローバル・イシューと世界の持続可能性                        | グローバル課題研究Aをふりかえり、このままでは持続不可能な課題のある社会であることを確認する。 |
| 第2回<br>1時限 | 持続可能な開発目標(SDGs)とは何か<br>—MDGsとSDGs—         | SDGsとMDGsとのつながりや内容について知り、背景には持続不可能な社会があることに気づく。 |
| 第3回<br>1時限 | SDGs17のゴールについて理解を深める<br>—身近な問題とSDGs—       | SDGsの具体的な内容を知り、途上国と日本の課題の共通点と相違点を理解し、関心を持つ。     |
| 第4回<br>1時限 | 2030年のゴールを達成するための<br>ポジティブ・アクション           | SDGs17のゴールを達成するために必要なことを多角的に考え、手立ては多様にあることに気づく。 |
| 第5回<br>1時限 | 持続可能な社会を創るソーシャル・アクション<br>—アクションするから社会が変わる— | 望む社会の実現には、一人ひとりの行動(問題解決への取り組み)が不可欠であることを理解する。   |

#### ◆ 学習のねらい

- ① 2030年に向けた世界共通のゴールであるSDGsについての理解を深める。
- ② 社会(グローバル/ローカル)の現状と、17のゴールのギャップを確認する。
- ③ SDGs達成には何が必要か、自分たちのこれからの生き方に照らしながら多角的に考える。

◆ 参加者: 国際コース1年生(計29名)

◆ 場所: 中部大学春日丘高等学校 東校舎1階1年9組教室

#### 当日の流れ

- ① SDGs17のゴールを達成するためにはどうしたらいいか、ワールド・カフェ方式で話し合う。
- ② SDGs2030年までにゴールを実現するための手立て7つを学ぶ。
- ③ 「目標を達成するために役立つこと・必要なこと・できること」を「目標達成のための7カ条」としてまとめる。

### ■ 「ワールドカフェ」とは

・人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発されるという考えに基づいた話し合いの手法。

\* 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行う。

\* 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感が味わえる。

## ■ 「SDGs」とは

17 の目標からなる「持続可能な開発目標(SDGs)」、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを旨とする普遍的な行動を呼びかけている運動。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 世界を変えるための17の目標



## ■ 生徒 29 名が考えた未来

Q. SDGs の目標の中で、これからの日本にとって優先順位の高い目標とは何か？(クラスで考える TOP 5)

- ① 11:「持続可能なまちと地域社会」
- ② 3:「健康であること」
- ③ 8:「適切な良い仕事と経済成長」
- ④ 10:「不平等を減らすこと」
- ⑤ 13:「気候変動への対策」

Q. 「持続可能な社会の姿 7か条」を作ってみよう。

1. ものを大切に使い、最後まで使うべし。  
(フリーマーケットを活用する、給食の食べ残しはおにぎりにする)
2. 教育を発展させるべし。  
(質の良い教育/教材を供給する、夜間学校を開設する、学校/図書館の設立する)
3. 4R(Reduce, Reuse, Recycle, Respect)すべし。  
(LEDを推奨する、ポイ捨てを禁止する)
4. 科学技術を向上させ、共有すべし。  
(技術を伝承する、留学制度(無償)を充実させる、再生可能エネルギーを推奨する、新しいエネルギー(ストレスエネルギー)を作成する)
5. 女性が活躍できる場を増やし、子供が生まれても働きやすい環境を作るべし。  
(性別での制限/差をつけない、仕事の種類/雇用を増加させる、給料形態を見直す、有休を取りやすくする制度を設定する)
6. 町のバリアフリー化を進めるべし。  
(公共交通機関を整備する、災害対策として非難しやすい建物の建設を行う、病院/老人ホームを設立する、地域交流の場を確立する)
7. 環境へ配慮すべし。  
(植樹する、土地を開発しすぎず動物にも寄り添う、二酸化炭素の減少に努める)